

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	※現状のグループホームの活動内容、現状の利用者様本人の身体の状況を含めた生活状況が分かりにくく、不明瞭な部分がある。また、日中の活動内容等でも分かりにくい部分がある為、最終的には利用者様家族に不満を募らせてしまっている状態になっている。(全体的にホームの活動内容は分かりにくい状態)	①:利用者様の生活実態や日々の状況などを記載した生活状況報告や御家族様向け通信での情報量が少ないので改善する。また、掲載されている利用者に多少の偏りがあるので改善をする。 ②:利用者家族様の希望と、御本人の実際の生活状況に差異(ずれ)があるので改善をする。	①:利用者様の生活状況の見直し、改善可能なものを再考する。 例:入浴時のシャワー浴から機械浴への入浴形態の変更や改善を行う、食事の形状をミキサーから刻みへの変更や改善をするなど。 ②:レクへの参加者、外出などへの参加者に偏りがあるので、可能な範囲で均一均等になるように外出などの機会を増やす。また、外出などを行った際には御家族様向け通信に掲載する以外にも、生活状況報告にも掲載して報告をする。 例:午前と午後の二部制にする、日程を二日間などの数日に分けて行う。など。 ③:御家族様向けに『今月(来月)の予定』という案内を行い、施設が予定している(考えている)内容の周知を行っていく。 ④:今後増えてくると予想される面会などに関しては、現状の施設の対応内容、方向性などを御家族様にも案内するようにしていく。(毎月の状況報告などに記載するなど) ⑤:毎月の生活状況報告、御家族様向け通信などに『問い合わせ窓口』などの連絡先を記載して、常時対応可能な旨の案内をする。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月